

ベトナムにおける出発前の HIV 感染状況と出発前の HIV スクリーニング検査

研究分担者 Tran Thi Hue 神戸女子大学文学部国際教養学科講師

研究代表者 北島 勉 杏林大学総合政策学部教授

研究分担者 沢田 貴志 神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所所長

研究分担者 宮首弘子 杏林大学外国語学部教授

研究要旨

近年、日本の在留外国人労働者が増加しており、国籍別では、2023 年度にはベトナム出身労働者が 51.8 万人と過去最高であり、中国出身労働者者（39.7 万人）が次いで第 2 位となっている。その中で、留学生や技能実習などの若者が 80% 占めている。従来、若者が HIV や結核などの感染症のリスクが高いものの、HIV 検査を含む保健医療サービスを簡単にアクセスすることができないといった医療課題は依然として大きな課題となっている。外国人の HIV 検査や治療へのアクセスを向上するための方策を検討するために、在留外国人の中でも増加が著しいベトナム人に関わる母国での HIV 流行状況と出発前の HIV スクリーニング検査の仕組みに関する文献調査とヒアリング調査を行った。

A. 研究目的

ベトナムでは 1990 年 12 月にホーチミン市においてはじめて公式に HIV 感染者が報告されて以降、HIV 新規感染者数は増加している。1997 年から 2007 年まで毎年 2 万人を超えており、2007 年には HIV 感染者が 30 万人と推計され、AIDS 関連の死者数は 4.4 万人を超えていた（UNAIDS, 2020）。2007 年から 2019 年まで HIV 感染者数が減少傾向となっていたが、2020 年以降 HIV 新規感染者数が増加している。エイズ流行の特徴として、

16 歳から 29 歳までの若者が 50% 占めており、大都市や東南部地方の居住者が顕著である。

また、ベトナムにおいて、従来売春、血液製品の汚染や麻薬の使用などは主な感染経路とみられたが、近年、若者の男性同性間の性的接触（MSM）による感染の増加が課題となっている。エイズ対策局のデータによる、HIV 感染者の 81.6% を性的接触による感染例が占めた。そのうち 2020 年には MSM における HIV 感染率が 13.3% であり、2014 年の 6.7% と比較して、6 倍増加している。

ベトナムでは MSM は感染リスクが最も高い集団になると推測される。

グローバル化の進展とともに、ベトナムから派遣される労働者も年々増加し続けている。2022 年現在、世界約 40 か国・地域で約 65 万人のベトナム人労働者が就労している。派遣先の中で、日本への派遣労働者数は最も多かった。日本国内でも、2023 年度にはベトナム出身労働者が 51.8 万人と過去最高であり、中国出身労働者者 (39.7 万人) が次いで第 2 位となっている。その中で、留学生や技能実習などの若者が 80% 占めている。従来、若者が HIV や結核などの感染症のリスクが高いものの、HIV 検査を含む保健医療サービスを簡単にアクセスすることができないといった医療課題は依然として大きな課題となっている。外国人の HIV 検査や治療へのアクセスを向上するための方策を検討するために、在留外国人の中でも増加が著しいベトナム人に関わる母国での HIV 流行状況と出発前の HIV スクリーニング検査の仕組みに関する文献調査とヒアリング調査を行った。

B. 研究方法

本研究は、文献調査と聞き取りを中心に調査を行った。主に以下の各項目について、情報収集を行った。

- (1) ベトナムにおける HIV 感染状況と課題
- (2) 海外派遣労働者の出発前検診に関する各種施策

【現地調査】(平成 5 年 12 月 18 日～22 日)
ベトナムで出国前健康診断を行っている病

院を訪問し、ベトナムにおける出発前の健康診断の状況と課題について聞き取りを行った。訪問をした機関は以下の通りである。

(1) Dr. Nguyen Thi Cuc (ベトナム交通運輸省附属病院 健康診断部長)

(2) Bui Thi Xuyen (VINAMEX HR 株式会社 副社長)

(3) Bui Thi Minh Hanh (ハノイ医科大学 予防医療研究所研究員)

(4) 労働・傷病・社会問題省海外労働管理局

(倫理面への配慮)

感染者・患者などの個人を対象とした調査は実施しないため、倫理上の問題はないと考える。

C. 研究結果

1. ベトナムの HIV 感染状況と課題

ベトナムでは 1990 年 12 月にホーチミン市においてはじめて公式に HIV 感染者が報告されて以降、新規 HIV 感染者数は増加している。1997 年から 2007 年まで毎年 2 万人を超えており、2007 年には HIV 感染者が 30 万人と推計され、AIDS 関連の死者数は 4.4 万人を超えていた (UNAIDS, 2020)。2007 年から 2019 年まで HIV 感染者数が減少傾向となっていたが、2020 年以降 HIV 新規感染者数が増加している。2021 年から 2022 年まで HIV 新規感染者数が 1 万 2000 人～1 万 3000 人であり、2019 年～2020 年期間と比べ 10% 増加した。ベトナム保健省の報告書により、2023 年 12 月時点では 23 万人の HIV 感染者であり、1 万 2,800 人の新規感染者がいると公式的に発表されている (ベトナム保健省、2024)。

エイズ流行の特徴として、以下のように指摘された。16 歳から 29 歳までの若者が 50%占めており、ホーチミン市、ハノイ、ビン・ズオン省、ロン・アン省などの大都市や東南部地方の居住者が顕著である。このことから、世界的な傾向と同様に、ベトナムにおいても、HIV 感染者とエイズ患者の若年化が進んでいることが示唆された。

また、ベトナムにおいて、従来売春、血液製品の汚染や麻薬の使用などは主な感染経路とみられたが、近年、若者の男性同性間の性的接触（MSM）による感染は増加傾向が続いている。エイズ対策局のデータによる、HIV 感染者の 81.6%を性的接触による感染例が占めた。そのうち 2020 年には MSM における HIV 感染率が 13.3%であり、2014 年の 6.7%と比較して、6 倍増加している。ベトナムでは MSM は感染リスクが最も高い集団になると推測される。

このような現状に対して、エイズ対策局は HIV 感染者拡大を抑制すべく、若者と MSM のリスクの高いグループを対象に、保健所における HIV 検査促進に加え、コミュニティ規模検査や自己検査、性行為パートナーや麻薬中毒者の注射針共有者の検査など、HIV スクリーニング検査の普及が図られている。さらに、エイズ対策局は HIV 感染のハイリスク層に対して自己検査が受検できるように、自己検査専用ウェブサイト (<http://tuxetnghiem.vn>) を開発した。このウェブサイトを通じて、35 地方と都市で HIV 自己検査キットを提供しており、確認検査のサービスとの連携も設定している。

2022 年から、HIV 新規感染者数が増加傾向にあり、こうした取り組みの成果が少しずつ上がってきていると考えられる。

しかし、上記のように受けやすい HIV 検査の提供が試みられているものの、若者と MSM における HIV 感染者数の増加が課題となっている。その主な原因として、若者の HIV/AIDS に関する知識とセクシャルヘルスのリテラシーの欠如が挙げられる (Nhan Dan, 2022 ; UN Vietnam, 2021)。2021 年の人口調査の結果では、15 歳から 24 歳までの若者の HIV 感染予防に関する正確な知識が 50%以下となり、また同グループで HIV/AIDS に対する差別を示したのは 40%であった (Nhan Dan, 2022)。さらに、一人以上の相手と性行為をしたことがあると回答したのは 14%であり、主要な HIV と STD 感染の伝播経路だと考えられる。HIV/AIDS に対する偏見や差別を解消し、予防行動や検査受検を促進するために啓発による知識のアップデートの必要性が示唆される。

2. ベトナム人海外労働者の特徴

ベトナムは、1980 年代以降、労働者海外送出行を行っており、2022 年現在、世界約 40 か国・地域で約 65 万人のベトナム人労働者が就労している (ベトナム放送局、2023)。日本はベトナム人労働者にとって魅力的な出稼ぎ先となっている。ベトナム労働・傷病兵・社会問題省の海外労働管理局によると、2023 年のベトナムから海外への労働者派遣総数は 15 万 9,986 人であり、前年度 (14 万 2,779 人) より 12.1%増加した。その中で、

日本へ8万10人で最大の派遣先となり、次いで台湾へ5万8,620人と多く、この上位2か国・地域で90%弱を占めた（貿易振興機構, 2024）。

日本国内で働くベトナム人はこの10年間で、10倍以上に増加している。厚生労働省のデータによると、日本における外国人労働者は2023年10月末時点では204万8675人であり、そのうち国籍別ではベトナム人が51万8,364人で最多となり、次いで中国39万7,918人、フィリピン22万6,846人となった。在留資格別にみると、技能実習（18万3,011人）が最も多く、専門的・技術的分野の在留資格（11万9,449人）、資格外活動（10万8,378人）、特定活動（3万、3,166人）となる。

3. 出国前の健康診断と HIV スクリーニング検査の提供状況

まずは派遣契約によるベトナム人労働者海外派遣法における海外派遣の労働者について実施すべき事項についてまとめる。当派遣法第38条2.bには、技能実習形態による海外派遣労働者について、受け入れ先国の要求に応じ、派遣前に必要知識教育と健康診断の実施が事業主に義務付けられている。また、出発前の健康診断に関して、第3章海外派遣労働者第43条においても「労働者海外派遣の申請書類」c項目「規定医療機関の健康診断書」の提出が義務付けられている。出発前の健康診断施策を以下の表1でまとめた。

表1. ベトナムにおける出発前の教育と健康診断に関する施策

- 2006年「派遣契約によるベトナム人労働者海外派遣法」2006年11月29日付72/2006/QH11。
- 第38条2.b「技能実習形態による海外派遣労働者が、受け入れ先国の要求に応じ、十分な知識を習得するために、必要知識教育を行う。または外国語教育期間と連携し教育を行う」
- 第3章海外派遣労働者第43条「労働者海外派遣の申請書類」c項目「規定医療機関の健康診断書」
- 労働・傷病兵・社会問題省通達第21/2021/TT-BLDTBXH 2021年12月15日付「契約に基づく外国で働くベトナム人労働者に関する法律の細則を規定する通達」第29条第4項、第65条第3項に規定するオリエンテーション教育のプログラム、内容、教育期間、オリエンテーション教育コースの修了証明書の様式
- 保健省通達第06/VBHN-BYT 2023年6月09日付「健康診断のガイダンスに関する通達」

また、交通運輸省附属病院にヒアリングした結果に基づいて、表2には、海外派遣の労働者の派遣前の健康診断項目をまとめた。

表2 出発前の健康診断項目

- 【一般検査】
- 既往歴の調査

- 自覚症状及び他覚症状の有無の検査
 - 身長、体重、腹囲、視力及び聴力
 - 腹部エックス線検査及び喀痰検査
 - 血圧の測定
 - 貧血検査（血色素及び赤血球数）
 - 肝機能検査（GOT, GPT, GTP）
 - 血糖検査
 - 尿検査
 - 循環器機能検査、心電図検査
- 【その他の検査】
- 腹部超音波検査
 - 尿酸値
 - B型肝炎ウイルス抗体検査
 - HIV 検査

D. 考察

ベトナムにおける HIV 対策の現状と HIV 検査に関わるシステムについて情報収集した。ベトナムでは 1990 年 12 月にホーチミン市においてはじめて公式に HIV 感染者が報告されて以降、HIV 新規感染者数は増加している。ベトナム政府は HIV 感染を抑制し、また社会経済的な影響を軽減するために、HIV 感染をなくすための情報提供・教育の充実や HIV 陽性者へのケアと治療の提供などの国家戦略を定めている。しかしながら、ベトナムにおける HIV/エイズによる死亡者数は依然として高い水準にあり、若者と MSM における HIV 感染者数の増加の課題に直面している。

その課題に対して、ベトナム政府は若者と MSM のリスクの高いグループを対象に、

保健所における HIV 検査促進に加え、コミュニティ規模検査や自己検査、性行為パートナーや麻薬中毒者の注射針共有者の検査など、HIV スクリーニング検査の普及が図られている。さらに、エイズ対策局は HIV 感染のハイリスク層に対して自己検査が受検できるように、自己検査専用ウェブサイト (<http://tuxetnghiem.vn>) を開発した。このウェブサイトを通じて、35 地方と都市で HIV 自己検査キットを提供しており、確認検査のサービスとの連携も設定している。

海外派遣労働者に対して、母国出発前に、必要な地域教育と健康診断の実施が事業主に義務付けられている。検査項目の中で、一般検査項目の他、結核や HIV などの感染症のスクリーニング検査を行っている。

E. 結論

今後、ベトナムからの在留外国人の増加が予想されるため、現地の HIV 感染状況と感染症のスクリーニング検査を参考したうえで、在留外国人の HIV 検査や治療へのアクセスを向上させるための仕組みを検討することが重要である。

参考文献

- 1) 北島勉・沢田貴志・宮首弘子・Prakash Shakya (2018) 「都内の日本語学校に在学している留学生の HIV と結核に関するリスク意識、知識及び保健医療サービスへのアクセスに関する研究」『厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業 平成29年度 総括・分担研究報告書』。

- 2) Jane et al., (2021) 「HIV and STI prevalence and testing history among men who have sex with men in Hanoi, Vietnam」 International Journal of STD& AIDS.
- 3) Nhan Dan (ベトナム共産党の国民週刊誌) 「Nhom tuoi thanh nien co kien thuc rat han che ve HIV/AIDS」 (和訳: 若者のHIV/AIDSに対する認識がまだ限られている) 2023年11月30日アクセス。 <https://nhandan.vn/nhom-tuoi-thanh-nien-co-kien-thuc-rat-han-che-ve-hiv-aids-post727023.html>
- 4) Vietnam Country Factsheets. UNAIDS. [Viet Nam | UNAIDS](#). 2022年03月06日閲覧
- 5) ベトナム保健省 (2024) 「Tong ket cong tac y te nam 2023 va nhien vu, giai phap nam 2024」 (和訳: 2023年度保健省活動報告書及び2024年度の事業企画書) 2024年1月4日11号/BC-BYT。2024年2月15日アクセス。
<https://thuvienphapluat.vn/van-ban/The-thao-Y-te/Bao-cao-11-BC-BYT-2023-tong-ket-cong-tac-y-te-va-nhiem-vu-giai-phap-nam-2024-594120.aspx>
- 6) ベトナムエイズ対策局のウェブサイト 「HIV/AIDS流行の報告」 <https://vaac.gov.vn/dich-vu-hiv-aids-trong-nuoc>
- 7) ベトナム放送局 (2023) 「650.000 lao dong Vietnam dang lam viec tai nuoc ngoai」 (和訳: 現在65万人のベトナム人労働者が海外で就労している) 2023年12月28日アクセス。
[https://vov.vn/xa-hoi/650000-lao-dong-viet-nam-dang-lam-viec-o-nuoc-ngoai-post1055715.vov#:~:text=%C4%90%E1%BA%BFn%20n%C4%83m%202022%2C%20sau%20khi,%25%20k%E1%BA%BF%20ho%E1%BA%A1ch%20n%C4%83m%202023\).](https://vov.vn/xa-hoi/650000-lao-dong-viet-nam-dang-lam-viec-o-nuoc-ngoai-post1055715.vov#:~:text=%C4%90%E1%BA%BFn%20n%C4%83m%202022%2C%20sau%20khi,%25%20k%E1%BA%BF%20ho%E1%BA%A1ch%20n%C4%83m%202023).)
- 8) 貿易振興機構 (JETRO) (2024) 「2023年の海外労働者派遣、日本向けが最多8万人、過去最高水準に回復」 2024年03月02日付アクセス
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/02/53cd9302033a1db8.html>
- 9) United Nations Vietnam 「HIV risk is real due to gaps in sexual health and HIV literacy among young people in Vietnam」 3 December 2021. 2023年12月20日アクセス。
<https://vietnam.un.org/en/161480-hiv-risk-real-due-gaps-sexual-health-and-hiv-literacy-among-young-people-viet-nam>

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

(口演)

Tran Thi Hue, 北島勉、沢田貴志、宮首弘子、中村秀太、新里尚美。「沖縄県における HIV 検査へのアクセスとその関連要因に関する調査: 在沖外国人と日本人の比較」第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会、2023 年 12 月、京都。

H. 知的財産権の出願・登録情報

なし